



和歌山大学 南紀熊野サテライト キャンパス



Open Seminar オープンセミナー開催

8月6日

13:30~15:00

開場(受付開始) 13:15

県立情報交流センター

Big・U 研修室4

和歌山県田辺市新庄町 3353-9

■記念講演■ 学部開放授業「世界農業遺産」より

「みなべ・田辺の梅システム ~実地に学ぶ世界農業遺産」

講師: 原 祐二 氏 システム工学部 准教授

2015年12月に、みなべ・田辺地域が、「みなべ・田辺の梅システム」として世界農業遺産に認定されました。2017年後期より開講する「世界農業遺産」は、この梅システムについて、実地にて学ぶ内容です。具体的には、まず国連FAOの世界農業遺産を主導されてきた国連大学の武内和彦教授に、世界農業遺産制度とその国内外の意義について御説明いただきます。その後、現地関係者の方々の御協力により、実地にて調査研修していきます。特に、地域生態系の仕組みと調査方法について、具体的なスキルと知識を身につけ、梅システムの知識を将来に継承できる人材を育成します。基礎的な生態学の訓練としても、現地で樹木の大きさを調べて地図化したり、植物の名前を覚えたり、ミツバチの役割を学んだりします。そして、システムに支えられ、どのような農作物・林産物が生産されているのか、現場にて確認します。具体的なスキルと知識を身につけ、自己成長と持続可能な地域の形成に資する内容としています。参加者の学習成果の蓄積は、いずれとりまとめ、世界に発信していくこととなります。このみなべ・田辺地域が、世界から注目され、世界と直結していることを体感いただけたらと思います。



■プロフィール 原祐二(はらゆうじ)和歌山大学准教授

東京大学卒業、助教勤務を経て、2009年に和歌山大学に着任。専門は、景観生態学(高校の地理と生物の中間領域みたいな)。みなべ・田辺の梅システムについては世界農業遺産申請時から英語申請書・発表対応などに努め、現在は三井物産環境基金など研究費を得て、ランドスケープと植物多様性について、実地で研究中です。私自身、地元の皆様の支えに感謝し、多くのことを勉強させていただきたいと祈念しています。ここは世界に誇る研究対象地です。

受講生募集説明会もあります

田辺市と新宮市で大学の授業を受講できます!

■授業説明…経済学部 吉田 雅章 サテライト代表

いくつになっても、働きながらでも大学生に♪

18歳以上の社会人受講生を募集中です。20代~80代まで幅広い年齢の方が受講されています。また、働いている方にもご参加いただいています。(高校生は大学授業の公開制度を利用できます。受講料、申請内容については学校にお問い合わせ下さい。また締切日が別途設定されておりますのでご注意ください。)



知っ
つ
て
は
絶
対
お
き
たい
!

学部開放授業

高校生もOK!
大学の授業を
聞いてみない?

学部開放授業

18歳以上なら
どなたでもOK!
リピーター続出!

※写真はイメージです

申込方法・問い合わせ先

※事前お申込にご協力ください

メールお申込 QR コード→



申込方法: 氏名、連絡先等の必要事項を下記の申込先へメールまたは FAX にてお申込ください。

申込期限: 平成 29 年 8 月 5 日(土) 17:00

申 込 先: 和歌山大学南紀熊野サテライト 〒646-0011 和歌山県田辺市新庄町 3353-9 和歌山県立情報交流センター big-U 内 102 号 TEL.0739-23-3977 FAX.0739-23-3978 受付メール: nankuma@center.wakayama-u.ac.jp

※席数に限りがあるため出来るだけ事前にお申込ください。当日参加はお受けできない場合があります。

※この申込の情報は開催の目的以外では使用しません。

お申し込み書 FAX: 0739-23-3978 締切: 8月5日(土)17:00

お名前:	年齢:	性別: 男・女	電話番号:
ご住所:			FAX 番号:
所 属:	電子メール:		

主催: 和歌山大学 南紀熊野サテライト連携協議会

後援: みなべ・田辺地域世界農業遺産推進協議会